

平成25年行政事業レビューシート

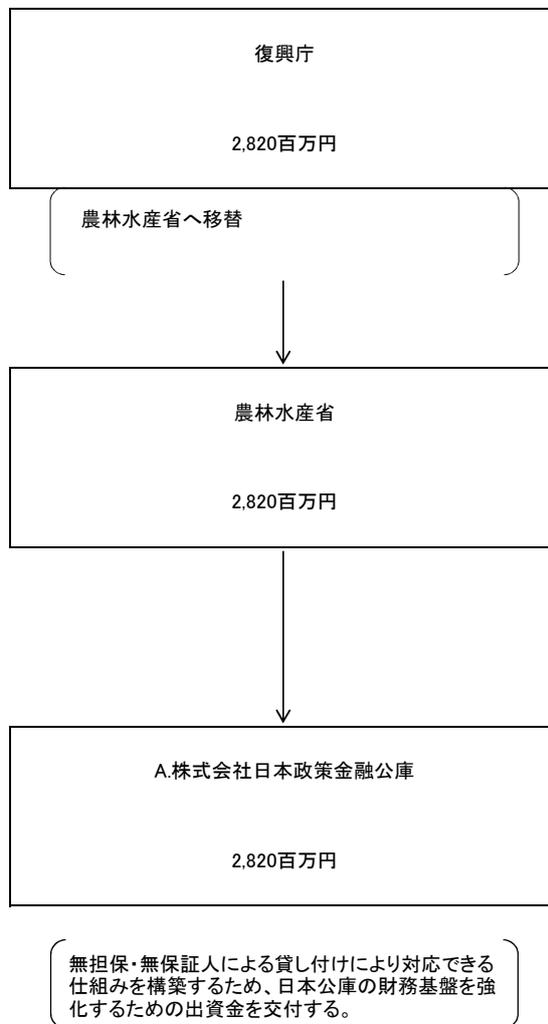
(復興庁)

事業名	日本公庫資金円滑化貸付事業(復興関連事業)		担当部局庁	復興庁		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～未定		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏			
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	復興施策の推進 東日本大震災からの復興に係る施策の推進					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災に被災した農業者等が行う復旧・復興のための取組を支援するため、日本公庫が災害復旧・復興関係資金を実質無担保・無保証人で貸し付けることができるよう、出資金を交付することにより、被災農業者等が必要とする資金の融通を円滑にする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災に被災した農業者等の復旧・復興について、日本公庫の災害復旧・復興関係資金を借り入れる際の債権保全にあたり、融資対象物件担保だけではカバーしきれない部分があっても、実質無担保・無保証人により貸し付けることができる仕組みを構築するため、日本公庫の財務基盤を強化するための出資金を国が日本公庫に対して交付する。 補給率:定額								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	22年度		23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	-		1,963	2,734	2,734		
		補正予算	括弧内は農林水産省が計上した同様の事業(農林水産省0155日本公庫資金円滑化貸付事業(復興関連事業))の予算額を参考記載しているもの		11,907	-	-		
		繰越し等	-		(予備費) 857	-			
	計	11,907		11,907	2,820	2,734	2,734		
執行額	11,907		11,907	2,820					
執行率(%)	100.0%		100.0%	100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	本事業による農業関連の復興投資 ※下段()書きは年度目標値、上段は年度実績値			成果実績	億円	-	460 (460)	330 (330)	-
			達成度	%	-	100	100		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	融資実績			活動実績 (当初見込み)	融資実績 億円 (計画額)	-	460 (460)	330 (330)	- (320)
単位当たりコスト	融資実績100万円当たりの出資金額			23年度 出資金額(11,907百万円)÷融資実績(460億円)×100万円 24年度 出資金額(2,820百万円)÷融資実績(330億円)×100万円					
23年度 258,848円 24年度 85,455円									
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	日本公庫資金円滑化貸付事業に係る出資金	2,734	2734						
	計	2,734	2734						

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	被災地において、多数の被災者から借入相談が相次いでおり、また、無利子、無担保・無保証人での融資を強く要望されていることから、国費を投入すべき優先度の高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	－			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	－			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	－			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	－			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	－			
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名
点検結果	<p>・被災地において、多数の被災者から借入相談が相次いでおり、また、無利子、無担保・無保証人での融資等を強く要望されていることから、本事業は優先的に実施される必要。あわせて本事業は、平成23年6月25日付け東日本大震災復興構想会議「復興の提言」、平成23年7月29日付け東日本大震災復興対策本部「東日本大震災から復興の基本方針」に示されている「二重債務問題」、「農業経営再建のための必要な資金調達円滑化」に対応した事業。</p>				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	被災農業者等が、農業経営再建のために必要な資金を円滑に調達するために、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。				
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
現状通り	引き続き効率的な予算の執行に努めていく。				
	備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年	平成23年	平成24年	58	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



A.株式会社日本政策金融公庫					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
出資金	日本公庫資金円滑化貸付事業	2,820			
計		2,820	計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックごと
 に最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

支出先上位10者リスト

A. 株式会社日本政策金融公庫

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社日本政策金融公庫	日本公庫資金円滑化貸付事業に係る出資金	2,820	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					